

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	湘南港		
所在地	藤沢市江の島 1 - 1 2 - 2		
サイトURL	http://enoshima-yacht-harbor.jp/		
根拠条例	港湾の設置及び管理等に関する条例		
設置目的(設置時期)	公共マリーナ設置整備のため(昭和38年)		
指定管理者名	株式会社湘南なぎさパーク		
指定期間	H26. 4. 1～H31. 3. 31	施設所管課	砂防海岸課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>平成27年度の3項目評価は、良好な結果となったが、これは、わが国ヨット競技の歴史とともに歩んできた施設であることの重要性をよく認識し、施設の活性化に創意工夫をもって努めてきた結果であり、6月に'20東京五輪開催施設という栄誉を再び手中にすることとなったことにも現れた。この社会的評価に驕ることなく、今後も公共施設であることの重要性に鑑み、県との連絡を密に、指導をよく仰ぎ、五輪成功のため開催準備に協力していくことが望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>長期的な景気低迷、わが国人口の年齢構成の超高齢化という施設の運営には厳しい環境の中にあつて、平成27年度の良好な実績数値は、日頃の努力が表れたものと評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営の状況 基本となる管理運営の他、設置に至る歴史的経過や有名観光地域内の立地という難しい条件のなか、施設の特性を良く理解し、国際級の競技者から一般観光客まで幅広く対応した努力が認められる。 ・利用状況 旧ヨットハウス除却が一段落し、新ヨットハウスが通年フル稼働したことの効果が数値に表れたものとも考えられ、次年度以降の結果が注目される。 ・満足度調査 結果としての数値は良かったが、用紙配布による方法だけにとらわれず、インターネット等その他の方法も検討するなど、より広範な意見を求め、それを活用するような工夫が望まれる。 ・収支状況 新ヨットハウスの管理のノウハウも蓄積され、光熱水費の削減などが功を奏し良好な結果となった。 ・苦情要望 繁忙期の島内過密状況のなか、緑地、駐車場等一般利用施設の管理も迫られ、指定管理者の責に帰さない苦情も多いなか、多種多様な要望苦情に良く対応した。 	

3項目評価	S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有	指導・改善勧告等の内容
	無	

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
日本を代表するヨットハーバーの知名度を生かし年間100回を超すヨットレースを開催するとともに一般利用者との調整を十分配慮し円滑な施設の運営を図る	積極的に大規模大会を誘致 4月 ノルウェーフレンドシップヨットレース 7月 パールレース 10月 全日本シーホース級ヨット選手権大会 11月 全日本学生ヨット選手権記念大会 11月 全日本オブティミスト級セーリング選手権大会	64東京五輪会場として誕生し、以来、わが国ヨット競技の普及向上の使命を負った施設であることを認識し、施設の活性化に努めた。
開かれた港湾に向けたイベントの実施	ヨット活動の普及のためNPO法人と協力してハンザクラスのヨットを利用した体験乗船を実施した。	競技の普及、技術の向上に偏ることなく、公共施設としての立場をよく理解し、広く一般住民へ海洋に親しみ理解を深める場を提供した。
車を利用して江の島を訪れる観光客による慢性的渋滞の緩和	江の島や湘南海岸周辺の駐車場の空車情報がパソコンやスマートフォンで一目で分かる「湘南パーキングインフォメーション」を作成	観光資源としても重要な江の島周辺地域にあって、地域振興の一翼も担う施設として、その責任を理解し、地域の発展に寄与した。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
アクセスディンギー体験事業	ヨット活動の普及のためNPO法人と連携して障害の有無や年齢に関わらず乗船できるハンザクラスヨットを利用した体験乗船を実施
宿泊型マリン体験教室	海の無い県の子供たちにマリンスポーツの楽しさを体験してもらった。
パーク&フリーサイクルの実施	駐車場利用者に無料で自転車をレンタルし、利用者のサービス向上を図った。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	25,729	24,521	25,371
対前年度比		95.3%	103.5%
目標値	25,500	25,500	25,500
目標達成率	100.9%	96.2%	99.5%

目標値の設定根拠： 例年実績

利用者数の算出方法（対象）： 利用艇数

[参考：最大利用可能人数／年]

	係留	陸置	駐車場			合計
定員	96	1100	353			
年間利用可能日数	322	322	366			
最大人数※	30,912	354,200	129,198	0	0	514,310
稼働率	92.70%	75.80%	98.80%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 主にヨット利用施設であるため

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	詳細アンケート	H27年12月1日からH28年1月11日まで

[施設としての総合的評価]

質問内容 性別、年齢、利用状況、接客対応、施設・設備の状況

実施した調査の配布方法 窓口で不特定配布 回収数／配布数 126 / 390 = 32.3%

配布(サンプル)対象 窓口訪問者 競技会参加者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	8	86	8	3	105	新しい建物の品質が最悪 レース運営がやりづらい 食品の自販機がない
回答率	7.6%	81.9%	7.6%	2.9%		
前年度の 回答数	41	78		33	152	
前年度回答率	27.0%	51.3%		21.7%		
回答率の 対前年度比	28.2%	159.6%	#VALUE!	13.2%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 接客対応についてお聞かせください。窓口、港湾作業、駐車場案内の3区分で実施

実施した調査の配布方法 窓口で不特定配布 回収数／配布数 126 / 390 = 32.3%

配布(サンプル)対象 窓口訪問者 競技会参加者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	23	48	39	8	118	
回答率	19.5%	40.7%	33.1%	6.8%		
前年度の 回答数					0	
前年度回答率						
回答率の 対前年度比	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

前年度は対応状況の設問なし

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	111,725	0	0		111,725	109,101	2,624	102.41%
	決算	111,725	0	0		111,725	110,678	1,047	100.95%
前年度	当初予算	117,758	0	10,689		128,447	128,447	0	100.00%
	決算	117,758	0	10,187		127,945	130,774	-2,829	97.84%
27年度	当初予算	112,911	0	9,305		122,216	122,216	0	100.00%
	決算	112,911	0	9,034		121,945	118,597	3,348	102.82%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H27.7	837	3tクレーン補修工
H27.7	1,339	浮き栈橋支柱補修工
H27.9	868	3tクレーン調査
H27.10	857	気象観測機器取替え
H27.10	993	臨港道路低木剪定
H27.11	1,490	クルサヤト係留施設補修工
H28.1	1,479	聖天島公園土砂撤去
H28.2	540	臨港道路街路樹剪定
H28.2	1,458	ポンツーン補修工
H28.2	856	3tクレーン補修工
H28.3	540	係留チェーン取り付け工
H28.3	1,470	浮き栈橋補修工

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 500千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等 指定管理者に起因するものはなかった。

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
5月6日	・駐車場料金の過誤納(20円)1件	自動料金機不調時にレジスターによる現金領収を行った際に、誤って緑化協力を駐車場料金として収納してしまったものである。	時間を置かず過誤納を発見し、適切に報告され、それに基づき、県会計からの戻出手続きが行われ緑化財団に納入されたため改善勧告は実施していない。 なお、料金システム更新の際に、手売りレジシステムも改良し、集計票出力において錯誤が生じないように対策を行った。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。